



『From7 第45回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時:平成24年3月7日(水) 19:15-21:00

場所:白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題予定

1. 【顕微鏡下における歯内療法 ～基本コンセプトと術式について～】

歯科医師 庵原 桃子(白鳥歯科インプラントセンター)

『近年、歯内療法におけるマイクロスコープの使用が注目を浴びています。ですが、使用することが直ちに成功率につながるわけではありません。科学的根拠に基づいた基本的な処置が必要です。今回、米国歯内療法専門医によるセミナーに参加させていただき、学んできた基本コンセプトや術式を紹介させていただきたいと思います。』

2. 【下顎左側第1大臼歯にインプラントを応用した1症例】

歯科医師 久保 浩太郎(白鳥歯科インプラントセンター)

『インプラントは欠損補綴の有効な手段として確立している。インプラントは長期的に機能するからこそ、十分に考慮した処置を施さなければならない。今回、下顎左側第1大臼歯にインプラントを応用した自分の症例を振り返ることによって、インプラントポジション、切開線などについて考察する。』

3. 【インプラントポジション】

歯科医師 白鳥 清人(白鳥歯科インプラントセンター)

『インプラント治療で何が一番大切かと言われれば、やはり「インプラントポジション」ではないだろうか？短期にみても、長期にみても、インプラント治療の成功の可否は、インプラントポジションが左右する。今回は、前回の磯川先生の「技工士の立場から」の話の続編として、歯科医師の立場から、インプラント治療のポジションについて考えてみたい。』